

審議結果を踏まえた今後の取組・対応方針について

上下水道局

評価実施事業	鷺沼配水池耐震補強事業
所管課	水道部水道計画課
審 議 結 果	
評価結果及び事業をめぐる社会経済状況等を勘案し、平成24年度事前評価実施事業について、「着手」が妥当と判断 【付帯意見】 地震対策事業に求められる成果は、震災発生時でも市民に対して着実に水を供給することであるという視点に配慮する必要がある。そのため、市内の各種水道施設に係る整備計画全体の中で、本事業を優先的に実施する事業として位置付けた根拠や、管路の耐震化の推進、市内の応急給水拠点の整備など、本事業以外にも一連の地震対策の取組が行われていることについて、市民に対する十分な説明を行うことが重要である。	
事業着手にあたり、審議結果を踏まえた今後の取組・対応方針	
本事業は、市内最大の配水池であり、その上部を「カッパーク鷺沼」として市民に開放している鷺沼配水池の耐震補強を行うもので、東日本大震災を受けた震災対策の前倒しとして実施するものです。これにより、災害時の安定給水と備蓄水量の確保が図られます。 本市では、「水道事業の再構築計画」や「10ヵ年施設整備計画」に基づき、本事業以外にも浄水場や他の配水池等の基幹構造物、管路、設備等の水道施設の耐震化や応急給水拠点の整備など、災害時においても市民への安定給水を確保するための取組を推進しているところです。 これら一連の地震対策の取組については、広報紙やホームページ等を通じてPRしているところですが、今後は図表や指標を用いたり取組全体の概要を示したりするなど、更に分かりやすく充実した内容となるよう工夫を加えるとともに、本事業の必要性や優先的に整備を行う意義についても、市民の皆様に十分な御理解をいただけるよう取り組んでまいります。	